

本校の熱中症への対応について

年々、夏の暑さが厳しくなり、特に今年は梅雨明けも早く、6月から 30℃を超える日が続いています。熱中症のリスクも高くなっているため、学校では、熱中症の予防や適切な応急処置のための様々な対策を実施しています。

① 暑さ指数の周知

「環境省熱中症予防サイト」より、その日の暑さ指数(予報値)や熱中症警戒アラートの発令状況を確認し、指数に合わせた下のシートを職員室中央に掲示し、全職員へ周知しています。また、黒球付熱中症指数モニターを職員室と体育教師室に置き、リアルタイムでの暑さ指数を計測できるようにもしています。



② 暑さに合わせた活動内容の見直し

暑さ指数に合わせて、全校集会等の学校行事は、ZOOM で開催できるものは開催形式を柔軟に変更しています。また、行事内容により、体育館等への集合が必要な場合は、水分補給等のための休憩時間を多めに取るなどして、対応しています。

③ 氷水浴法(アイスバス)のためのビニールプール

熱中症の応急処置として、体の深部体温を下げるために有効な氷水浴法(アイスバス)を実施できるように大きめのビニールプールを購入し、必要な時にすぐに取り出せるよう、クラブハウスの入口に置きました。部活動に必要な時や、球技大会、体育祭等の学校行事の際に稼働できるようにしています。



④ アイスラリー飲料の常備

熱中症対策として、今までは経口補水液を職員室、保健室、体育教師室の各冷蔵庫に常備していましたが、今年度は、体内への浸透が早く、深部体温を早く下げるための効果が高いとされる、アイスラリー飲料を経口補水液に加えて、常備するようにしました。

その他、部活動単位でも、生徒の体力や体調等に合わせた熱中症対策を実施しながら活動しています。

食事・運動・休養のバランスのとれた生活習慣も熱中症の予防として重要です。暑さに負けない体がつくれるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。